

# 在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会

～報告～

平成30年3月16日

## 目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

○顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討

○その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）

について検討

## 平成29年度研修部会 実施状況まとめ

	内 容
第1回 (5月15日)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 平成29年度顔の見える関係会議について 平成28年度第2回研修部会での意見をもとに、平成29年度顔の見える関係会議の進め方を検討。 (今年度の方向性) 「柏モデル・次への挑戦～多職種連携の深化と進化～」 (内容) 第1回:がん(アドバンス研修), 第2回:災害(エリア別) 第3回:認知症</li><li>2 各団体の研修会等の計画について</li></ol>
第2回 (3月1日)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 報告 ・平成29年度顔の見える関係会議 ・がん医療フォーラム2017 ・第9回在宅医療推進のための多職種連携研修会</li><li>2 平成29年度顔の見える関係会議の振り返り及び 平成30年度顔の見える関係会議の検討 (方向性, 役割(ファシリテーター等), 日程, 内容等)</li><li>3 今後の多職種連携の推進のための研修のあり方について ・各団体の研修会等の共有(研修目的, 内容, 実績を共有) ・多職種連携の推進のための研修のあり方を検討</li><li>4 連携協議会における新たな取り組みについて</li></ol>

# 平成30年度顔の見える関係会議の検討

## (1) 平成29年度顔の見える関係会議報告

### 【方向性】「柏モデル・次への挑戦～多職種連携の深化と進化～」

	テーマ	日時 ・ 参加者数 (初参加率)
第1回 (通算21回目)	グループワーク・ミニレクチャー(アドバンス研修) 「がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり」	平成29年7月20日(木) 169名(27%)
第2回 (通算22回目)	グループワーク・ミニレクチャー(エリア別) 「災害時にお互いの役割を理解し行動するために」	(北部)平成29年11月29日(水) 118名(38%) (中央)平成29年11月28日(火) 138名(43%) (南部)平成29年12月1日(金) 112名(39%)
第3回 (通算23回目)	グループワーク・ミニレクチャー 「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して」	平成30年2月8日(木) 194名(35%)



平成29年度 延べ参加者: 731名  
通算1回目～通算23回目: 延べ参加者 4,762名

	テーマ	参加者の主な感想(平成29年度アンケート抜粋)
第1回 (通算21回目)  平成29年7月20日	アドバンス研修 「がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり」  グループワーク・ミニレクチャー	地域の一員として伝える、連携する力をつけていきたい。患者様の声が聞けて良かった(訪問看護師) さまざまな職種の視点からの意見が新鮮で、考え方が広がった(介護サービス事業者) 患者さんの立場で考えることで、どんなことを不安に感じているのか考える機会になった(リハビリ職)
第2回 (通算22回目)  11月28日(中央) 11月29日(北部) 12月1日(南部)	エリア別 「災害時にお互いの役割を理解し行動するために」 グループワーク・ミニレクチャー	災害のテーマは、本当に顔が見えなくてはいけないと思った(歯科医師) 自分の職種でできること、それとは別に、地域、個人として考えることができた(薬剤師) 他業種の方との意見交換は役立った。今後地域に反映したい(ふるさと協議会) 職種の違う人が色々考えることはすばらしい(警察)
第3回 (通算23回目)  平成30年2月8日	「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して」 グループワーク・ミニレクチャー	多職種連携で気づきを行なっていけば、柏市の認知症を支えていけるかもしれないと感じた(訪問診療医) 民生委員さんより、地域の話聞くことができよかった(病院看護師) 色々な職種から多面的な視点で意見を伺うことができ、課題が整理できた(かしわオレンジフレンズ) 多職種の色々な角度からの意見を聞くことができ、救急隊として自分たちに出来ることが見えてきた(消防)

**内容について平均約97%が「役立った」「まあ役立った」と回答**

どのテーマにおいても、多職種連携の必要性を理解できた  
 ⇒顔の見える関係づくりを推進し、連携体制を構築するきっかけになっている

平成30年度顔の見える関係会議の検討(方向性や内容等)

## (2)がん医療フォーラム2017報告

- ◆日時:平成29年10月29日(日)13時~16時
- ◆場所:ザ・クレストホテル柏
- ◆参加者:250名(講師含む)

第1回顔の見える関係会議で話し合われた内容や柏市の多職種連携の取組みをフォーラム第2部で伝達



### ◆アンケート結果(抜粋)

参加者250名中回収数136名

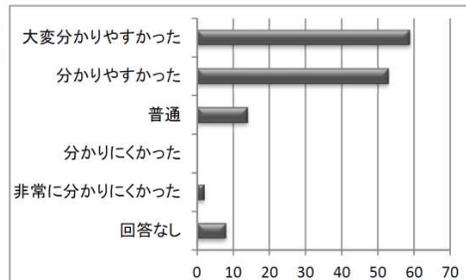
回答者内訳:男性51名 女性84名 回答なし1名

職種:医療・福祉・介護関係者39% 会社員・主婦等61%

年齢:20代以下4.4% 30代7.4% 40代21.3% 50代24.3% 60代14.7% 70代以上27.2% 回答なし0.7%

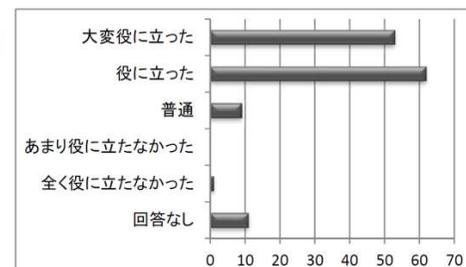
フォーラムの「内容」は分かりやすかったですか。

	回答数	比率
大変分かりやすかった	59	43.4%
分かりやすかった	53	39.0%
普通	14	10.3%
分かりにくかった	0	0.0%
非常に分かりにくかった	2	1.5%
回答なし	8	5.9%
合計	136	100.0%



フォーラムの「内容」は役に立ちましたか。

	回答数	比率
大変役に立った	53	39.0%
役に立った	62	45.6%
普通	9	6.6%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
全く役に立たなかった	1	0.7%
回答なし	11	8.1%
合計	136	100.0%



### ■ご意見・ご感想(一部抜粋)

- 多職種の先生方の連携が心強い, 素晴らしい(8件)
- サポートしてくれる人の存在や詳細を知り安心した(5件)
- 柏市の取組みを初めて知った, 驚いた(4件)
- 柏市の取組みを知り安心した(3件)
- 多職種の方たちの気持ちを知った(3件)
- 自分も医療従事者として連携を大切にしたいと思った(3件)

### (3) 平成30年度顔の見える関係会議について

#### <部会で出された主な内容>

##### ◆方向性

- ・「柏モデル・次への挑戦～多職種連携の深化と進化～」の継承

##### ◆役割

- ・1グループ2名のファシリテーターにしてはどうか

##### ◆対象者

- ・アドバンス研修では、初参加者は発言しにくい
- ・市民の参加は大切。裾野を広げることはよいが既に地域活動を行なっている団体等に参加を依頼できるとよい

##### ◆内容

- (回数) ・テーマから考えると年4回(エリア別, アドバンス研修, 疾患別2回)は必要か
- ・年3回(エリア別, アドバンス研修, 市内全域)は期間にゆとりがあってよい
- (テーマ) ・認知症やがんは、継続したい。疾患別では、脳卒中, 心不全はどうか
- ・救急(H28)や災害(H29)は、繰り返しまたは掘り下げた内容ではどうか
- ・アドバンス研修では、意思決定支援の実施
- ・エリア別では、認知症, 災害, 介護予防はどうか

##### ◆その他

- ・エリア別は事前会議の回数が多いため、負担を減らす対策が必要  
(例, 合同ファシリテーター会議等)

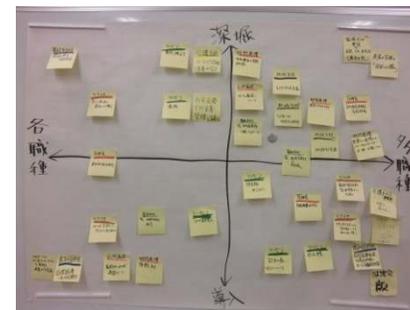


方向性や内容等については、引き続き研修部会で検討する。

# 今後の多職種連携の推進のための研修のあり方について

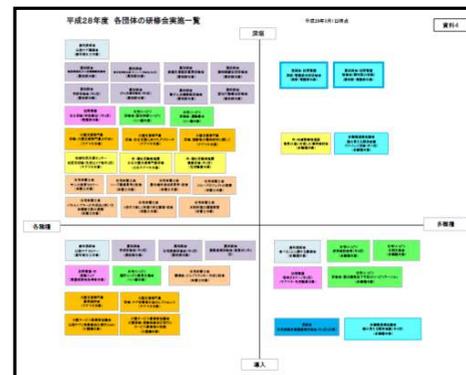
平成27年度 ⇒「深堀」「導入」ともに、各職種を対象とした研修会より、多職種を対象とした研修会が多い

	各職種	多職種
深堀	6団体・7回実施 (事例検討, 認知症, がん, 摂食嚥下, 意思決定支援等)	6団体・12回実施 (事例検討, がん, 終末期, 意思決定支援等) *各団体間で講師を派遣し研修会に協力
導入	5団体・6回実施 (包括ケア, 訪問診療, 衛生材料等)	6団体・10回実施 (認知症, がん, 在宅医療, 救急等)



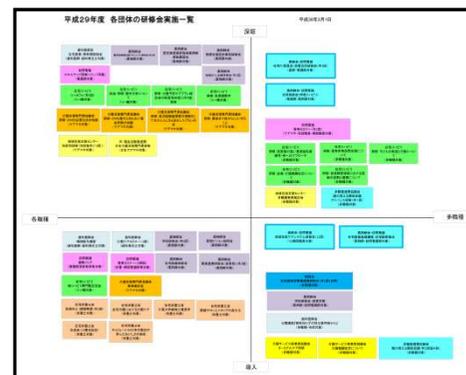
平成28年度 ⇒「深堀」「導入」ともに各職種を対象とした研修会が増え、多職種を対象とした研修会が減った。  
各団体が共催で実施した研修が2回あった。

	各職種	多職種
深堀	8団体・25回実施 (がん, 認知症, 呼吸リハビリ等)	5団体・4回実施 (事例検討, 呼吸療法, 意思決定支援等) *団体間での共催で実施(2回)
導入	7団体・11回実施 (事例検討, 連携, 意見交換会等)	5団体・7回実施 (症例検討, 啓発, 連携等)



平成29年度 ⇒「各職種」「導入」では、同職種間連携の研修が3回あった。  
「多職種」を対象とした研修会が増え、うち共催で実施した研修が4回に増えた。

	各職種	多職種
深堀	7団体・16回実施 (がん, 法令知識など)	6団体・10回実施 (事例検討, 呼吸リハビリ, 介護報酬改定など) *団体間での共催で実施(2回)
導入	6団体・16回実施 (看看・薬薬・リハビリ連携など)	7団体・8回実施 (病院と在宅との連携, ターミナルケアなど) *団体間での共催で実施(2回)



- <意見>
- ・新たな団体間において共催で実施する研修会の企画・実施
  - ・他職種が講師として協力する研修会等の提案

## 平成30年度 活動内容・スケジュール(案)

### <部会開催予定>

☆年2回

### <部会での検討内容>

☆顔の見える関係会議の実施にむけて

☆在宅医療多職種研修会について

☆多職種連携の推進のための研修について

### <顔の見える関係会議>

☆年3~4回予定(うち1回はエリア別, アドバンス研修)

### <在宅医療多職種研修会>

平成29年度同様(時期, 開催回数, 規模等)に開催予定